

令和3年度版

工事管理のひけつ

～優れた工事管理の取組事例集～

令和3年11月

公益財団法人横浜市建築保全公社

ま え が き

本冊子は、公共建築物の営繕工事における品質の向上及び適正な施工に資することを目的として、今年度の優良工事施工者表彰を受けられた皆様の実践内容を取りまとめたものです。

当公社では、平成23年度より、表彰を受けられた皆様方の実践されている創意工夫について、少しでも多くの修繕工事に携わる方々の参考となるよう、事例集として提供しております。

公共建築物の修繕工事に携わる方々におかれましては、本冊子を参考に、創意工夫や一層の充実を図っていただくことを期待しております。

本冊子作成にあたりまして、表彰を受けられた皆様方に多大なご協力を賜りましたことに、厚くお礼申し上げます。

令和3年11月

公益財団法人横浜市建築保全公社
理 事 長 黒 田 浩

目 次

まえがき

【建築部門】		頁
アラン建設株式会社	横浜市民ギャラリー展示室床改修工事	1
上條建設株式会社	新橋ホーム屋根改修その他工事	2
株式会社橘木	豊岡小学校フェンス設置工事	3
株式会社小俣組	茅ヶ崎小学校外壁改修その他工事	4
株式会社サクラ	浦島小学校外壁改修その他工事	5
坂本建設株式会社	舞岡小学校普通教室改造その他工事(建築・電気・機械)	6
株式会社谷津建設	いずみ野小学校ほか1校トイレ改修その他工事(建築・電気)	7
株式会社ヨコテック	長津田第二小学校サッシ改修その他工事	8
【電気設備部門】		
株式会社九州電業社	ひかりが丘保育園照明設備改修工事	9
株式会社小山電気	浜中学校体育館照明改修工事	10
新興電設工業株式会社	都筑水再生センター外灯照明改修工事	11
ナトリ電設株式会社	みどり保育園照明設備改修工事	12
株式会社花方電設	茅ヶ崎南保育園ほか1園空調設備設置その他工事(電気)	13
丸子電気工事株式会社	少年自然の家南伊豆臨海学園自家発電設備更新その他工事	14
【機械設備部門】		
株式会社イエス	釜利谷東小学校ほか1校トイレ改修その他工事(機械)	15
カナレイ株式会社	よこはま動物園チンパンジー舎空調設備改修工事	16
株式会社金子産商湘南	中央卸売市場本場水産物部衛生設備等改修工事(BP-2 系統)	17
興和工業株式会社	瀬谷第二保育園調理室スチームコンベクション設置工事	18
神中工業株式会社	旭区総合庁舎新館及び別館空調換気設備更新工事	19
杉山管工設備株式会社	西公会堂吸収冷温水機等更新工事	20
株式会社司工事	善部小学校ほか1校トイレ改修その他工事(機械)	21
株式会社ニッセツ	工業技術支援センター空調機更新工事	22

※掲載は、工事部門別に五十音順（施工者名）としております。

アラン建設 株式会社

横浜市民ギャラリー展示室床改修工事

1. 工事概要

当工事は、雨の吹込みにより、床・フローリングが濡れたため、フローリングの一部を撤去・事前検査の結果カビ菌の繁殖があったため、今回床を撤去、別途業者が消毒を行い、フローリングの床改修を行う工事でした。

2. 課題・懸念等

(工期について)

- 1) フローリング材料が特殊サイズで輸入品であり、コロナ禍での注文から、施工予定日に入荷するかどうか懸念がありました。

(新型コロナウイルスについて)

- 1) 作業員等の感染の心配。

(工事方法について)

- 1) 工事の目的を考え、既設フローリング・下地撤去時のカビ菌の飛散・拡散の防止方法。

3. 課題・懸念等への取り組み

(工期対策について)

- 1) フローリングの特殊材料は、発注者と契約後速やかに、業者と打合せ・契約注文を行いました。
- 2) 消毒業者とは、事前会議等により、市民ギャラリーの皆様・監督員さんの指導のもと、綿密に打ち合わせを実施し、工程に余裕が持てるように既設フローリング撤去・床改修の作業日程をくみました。

(新型コロナウイルス感染対策について)

- 1) 日々作業日の体温測定・手洗い・消毒は、もとより、日々のミーティング等により仕事外での日常生活での三密の回避する行動を心掛けるよう話し合っていました。

(工事方法について)

- 1) 撤去前に展示壁・展示棚等周囲は、入念に養生を施し又換気の流れを考え流下方面は、シート等で、できる限り密閉を行いカビ菌の拡散を防止しました。
既設フローリング・下地は、丁寧に取外すと共に同時に埃を常時吸い取り飛散を防止しました。
施工完了後天井の展示壁吊りレール・排気ダクト等は、消毒の先生のご指導の元、消毒液にて丁寧に消毒を行いました。

以上課題・懸念等に当該工事に取り組み、監督員さんとの打合せ・ご指導、市民ギャラリーの皆様の協力により無事 安全に工期内に竣工することが、出来ました。

工 事 場 所	西区宮崎町 2 6 番地 1		
請 負 人 氏 名	アラン建設 株式会社	代表取締役	奈良 尚登
契 約 年 月 日	令和 2 年 10 月 14 日		
完 成 期 限	令和 3 年 1 月 22 日		
完 成 年 月 日	令和 3 年 1 月 15 日		
検 査 年 月 日	令和 3 年 1 月 18 日		
契 約 金 額	8,565,700 円		

上條建設 株式会社
新橋ホーム屋根改修その他工事

本工事は、既存屋根アスファルトシングル葺きに対して、新規アスファルトシングル材をかぶせ工法で改修する工事でした。

施設に顔合わせの挨拶で伺ったところ、世間はコロナ禍の最中だった為、当施設は老人用施設なので新型コロナウイルス対策に関してとても心配されておられました。

その時、直接工事もさることながら、感染症対策にも十分に気を配って施工しなくてはならないと肝に銘じました。

そこで、当初、工事作業員は施設内トイレを利用する予定でしたが、施設利用者・関係者様との動線を区別するよう仮設トイレを外部に設置しました。そして、現場代理人の私だけが朝・夕の挨拶を行うときのみ施設に出入りするという形を取りました。

また、工事関係者は全員、朝・昼に検温・消毒を行い、体調管理を徹底して慎重に工事を行いました。

次に、施工に関してですが、当初、既存アスファルトシングル葺きに対して、新規アスファルトシングル材をかぶせ工法で施工する（脆弱部 30%撤去）という設計でした。

しかし、現場調査で表面の砂を手で触ったところ、パサパサと取れてしまう箇所が多数あり、脆弱部が前面に見られた為、全面撤去を提案しました。

そこで、メーカーが立ち会い、再検討書を提出して設計変更を行って頂きました。

良い下地を積み重ねる事で、より良い仕上げが期待できる為、現場調査の際に下地の現状を把握し、担当監督員・メーカーに相談して再検討の提案が出来た事は良かったと思います。

また、工事管理の一環として施工写真の撮り方、内容にも気を配りました。

メーカーの施工要領書を十分に確認することで、どのような写真を撮影するのかを決めました。アスファルトルーフィングの重ねピッチ等の撮影はもちろんですが、その他に屋根葺きする際の墨出しのピッチ、釘の打つ箇所、メーカーが推奨している屋根材に塗布するのりの付け方や量など新たな発見がありました。

撮影する写真を事前に決めておく事で、工事の管理がスムーズになり、漏れがなくなりました。結果として品質の管理にも繋がった為、これからも活用したいと思います。

現場検査でも仕上がりを褒めて頂きましたが、施設関係者の方々、担当監督員の方のご協力なくしては無事竣工できませんでした。大変感謝しております。

これからも、今回の経験を生かし、良い建物造りが出来るよう精進して参りたいと思います。

工 事 場 所	泉区新橋町 3 番地		
請 負 人 氏 名	上條建設株式会社	代表取締役	池ヶ谷 誠
契 約 年 月 日	令和 2 年 3 月 11 日		
完 成 期 限	令和 2 年 6 月 30 日		
完 成 年 月 日	令和 2 年 6 月 24 日		
検 査 年 月 日	令和 2 年 6 月 25 日		
契 約 金 額	33,220,000 円		

株式会社 橘木

豊岡小学校フェンス設置工事

本工事は、鶴見区豊岡小学校の古くなったブロック塀地上部及びフェンスを撤去した後、フェンスの新設、残されたブロック塀の塗装を行う工事でした。

現場条件としては、以下の問題がありました。

- ・鶴見駅から続く商店街の中であり歩行者・車両の通行が多い
- ・延長約320mのほぼ全てが歩道・車道からの作業となる（道路使用・道路占用申請）
- ・校庭側は、障害物が多いことと授業で使用するため重機作業不可
- ・道路幅が狭いため、同時施工不可エリアあり（土木事務所指示）

このような条件下で、第三者に対する安全管理を最優先に施工計画を作成しました。

まずは、事前協議において学校側から行事予定や要望を細かく聞き、その内容に沿った施工方法を検討しました。具体的には、ブロック塀撤去時の騒音・粉塵による授業や行事への影響、校庭側作業時や登下校時の児童の安全確保に注意しました。また本工事では、全ての工程において歩道・車道を使用するため、管轄の土木事務所や警察署、商店街への事前協議を確実にを行い、本工事についてのご理解を頂くことが出来ました。

施工については、仕上げに塗装工事を行う関係上、悪天候による工程への影響が懸念されたため、問題となっていた同時施工不可エリアの進め方を協力業者を交えてよく検討し、少しでも工程に余裕を持たせられるよう決定していきました。また、既存ブロック塀の下部を残しながらの施工であったことと既設障害物等が多く存在したことにより、施工中は設計図通りではおさまらない箇所も多くなりましたが、担当監督員様と逐一綿密な協議を重ねることで、安全且つ品質の良い施工を心掛けました。本工事に限ったことではありませんが、目の前の問題に一つ一つ丁寧に対応したことがより良い施工に繋がったと思います。

最後に、難しい現場条件ではありましたが、担当監督員様、施設担当者様、その他関係者の皆様のご協力のもと、無事故無災害で完成できましたことを感謝致します。今後も安全且つ品質の良い施工を心掛けてまいります。

工 事 場 所	鶴見区豊岡町27番1号		
請 負 人 氏 名	株式会社 橘木	代表取締役	山崎 次郎
契 約 年 月 日	令和2年11月4日		
完 成 期 限	令和3年3月19日		
完 成 年 月 日	令和3年3月10日		
検 査 年 月 日	令和3年3月15日		
契 約 金 額	31,412,700 円		

株式会社 小俣組

茅ヶ崎小学校外壁改修その他工事

本工事は、茅ヶ崎小学校の全ての施設棟の外壁改修工事でした。周囲は公園・保育園・小学校が隣接しており、車両の出入りができないように設計されている施設で閑静な環境でした。通学対象父兄だけでなく環境に興味のある住民様方が多く自然の環境活動など地域の活動も盛んに行われていました。また、コロナウィルスの感染も拡大している最中となり対策にも注意しなければならないという環境でした。

上記内容を踏まえ、工事を学校運営しながら進めるにあたり、施設運営者および関係者には、いろいろな観点から配慮・管理する必要がありました。

1. 小学校運営にあたる先生と授業カリキュラムイベントと工事エリアの調整。

毎日の授業カリキュラムと照らし合わせ、体育館・運動場・特別教室の利用に伴う工事方法の調整。コロナウィルス対策換気と工事作業による粉塵・臭気の配慮。外壁作業、棟別、棟作業方向外壁面の配慮。足場周辺の立ち入り禁止措置と監視の徹底。

2. 中学校・保育園イベント 地域のイベントの調整

土曜・日曜・祭日に関しては地域のイベント、運動会等がグラウンド・体育館等で行われるので、関係者との事前の協議連絡調整を常に事前に行う。工事の手順・作業エリアの調整。

3. 放課後キッズ、地域運動場学校開放各クラブとの調整

常に放課後・土日祭日に行われる体育館・グラウンド利用者責任者との連絡調整。
立ち入り禁止措置の徹底。

4. 公園管理者との調整

公園内のゴミの見守巡回※週2回一斉清掃による自動販売機周辺のゴミまとめ⇒夏休み時は特にペットボトルが山になり、周辺にゴミも捨てられてしまう。

5. 工事内容以外の施設利用者からの施設不具合の聞き取り。

できる範囲での対応・アドバイス。

工 事 場 所	都筑区茅ヶ崎南一丁目11番1号		
請 負 人 氏 名	株式会社 小俣組	代表取締役	小俣 務
契 約 年 月 日	令和2年5月13日		
完 成 期 限	令和3年1月29日		
完 成 年 月 日	令和3年1月21日		
検 査 年 月 日	令和3年1月25日		
契 約 金 額	250,336,724 円		

株式会社サクラ

浦島小学校外壁改修その他工事

本工事は、浦島小学校校舎棟及び体育館棟の外壁改修・サッシ改修を行う工事でした。工事期間中は情報が少ない中でコロナ対応を行いながらの打合せ・協議・施工を行うこととなり、利用者を含めた第三者への不安を軽減させることが必要だと感じました。

サッシ改修を行うためには建物内部へ入場しないと作業ができないため、作業員へのマスク着用、消毒、体温管理を徹底し学校利用者への不安が少なくなるように現場管理を行いました。

マスクや消毒液の確保が難しい時期でしたが一斗缶での消毒液の確保やマスクの確保を行いながら、利用状況・在庫状況を学校管理者へ報告し対応内容の説明と情報の共有を丁寧に行うよう心掛けました。

施設利用状況がコロナ対応の為に発生することが予測されたため、作業経路や作業導線の管理を徹底して行うことで学校への対応を少しでも早くできるように工区管理を行いました。

内外部の掃除の徹底や手に触れた部分への消毒は毎日作業員と一緒にいき、第三者や職員が急遽施設を利用する場合や予定の変更が発生した際に対応できるように準備は毎日行いました。

どうすれば感染対策が足りているかわからないなかでの作業だったので学校職員も不安を感じる部分はあったと思いますが、対応内容の説明を公社の担当監督員・主任監督員にご協力いただき作業を進めていけたので学校側の工事対応も非常に協力的であり助かりました。

外壁改修完了時にはご近隣にお住まいの方や通行している方からお礼や仕上がりに対しての声を掛けていただくことがあり、敷地外の方も気にかけていただいているとあらためて感じました。

建物所有者、管理者、利用者にはコミュニケーションをきちんととる必要性と、近隣の方への挨拶や声かけが工事には重要だと思いました。

またわからないことや不明なことがある状況の中でも自分たちができる準備は作業員と一緒に常にいき、対応内容を管理者の方と共有していくことが利用者や第三者への素早い対応につながると思いました。

協力してくださる現場作業員と共にこれからも地域の人に喜んでいただけるような仕事への対応と仕上りを目標に努力していこうと思います。

工 事 場 所	神奈川県浦島丘16番地		
請 負 人 氏 名	株式会社 サクラ	代表取締役	坂倉 徹
契 約 年 月 日	令和2年4月28日		
完 成 期 限	令和2年12月11日		
完 成 年 月 日	令和2年12月7日		
検 査 年 月 日	令和2年12月9日		
契 約 金 額	205,755,000 円		

坂本建設株式会社

舞岡小学校普通教室改造その他工事（建築・電気・機械）

今回の工事は、小学校の特別教室など5教室を2期に分けて改造する内容で、既存視聴覚室を図画工作室へ、既存図画工作室を個別支援学級へ、既存個別支援学級を普通教室へ改造する工事でした。

今回工程で心掛けたことは、工事をすることで授業ができない期間がないように着手する順番を計画することでした。

又、スタジオから放送室に改造する工事では、運動会には放送設備を使いたいと希望があり、運動会に間に合わせるように工程を組みました。

特に作業量が多い個別支援学級では、多くの既存備品が移設再使用だったので、授業の時に備品がないなど小学校に不便をおかけしないように土、日曜日に移設日を決めて、その日を軸に工程を組みました。

結果、多大なる小学校の協力もあり、1期工事、2期工事共に着工会議で提出した工程表とおり1日の遅れもなく完成することができました。

放送室については運動会の練習より前に完成でき、校庭のスピーカーから流れる音楽に合わせて練習する生徒を見てホッとしました。

安全については生徒と工事関係者の動線の区画を徹底しました。

事故を未然に防ぐことは当然のこと、新型コロナウイルス感染対策もその目的の一つです。

感染対策についてはその他にも、マスクの着用や手指の消毒、朝礼でのソーシャルディスタンス実施、作業員休憩所のテーブルにはパーテーションを設置するなど徹底しました。

今回工事では事故もなく工程表とおり順調に竣工できたことは、学校関係者の方々のご理解とご協力、担当監督員様のご指導があつてのことと感謝しております。

今後とも今回の経験を活かし、利用されるみなさんによるこんでもらえる建物造りを目指してまいります。

工 事 場 所	戸塚区舞岡町534番地		
請 負 人 氏 名	坂本建設 株式会社	代表取締役	山崎 喜昭
契 約 年 月 日	令和2年7月1日		
完 成 期 限	令和2年12月15日		
完 成 年 月 日	令和2年12月4日		
検 査 年 月 日	令和2年12月11日		
契 約 金 額	73,928,580 円		

株式会社 谷津建設

いずみ野小学校ほか1校トイレ改修その他工事（建築・電気）

今回、本工事を施工させて頂くにあたり、大きく二つのテーマを掲げ、取り組むことを考えました。

一つ目は、児童及び学校関係者が常に活動されている中での施工を作業音等で迷惑をかけず、安全に且つ工期内に仕上げるかを考えました。

この件については、まず着手前に工期内の学校行事とその内容を理解した上で更にコロナ禍での作業ガイドラインを踏まえつつ、マスター工程を作成しました。コロナ禍で且つ学校自体も行事対応が日々変化する中で不自由な工程組み立てになりましたが、それに対応可能な協力業者をお願いする事で対応しました。さらに工事が始まってからは、毎日朝夕2回学校と連絡・確認を必ず行うと共に、作業音については事前に試験的に発生させ、問題が無いことを確認した上で作業するようにしました。また、当日の時間割を考慮し、毎日の工事時間割（資材搬出入時間及び方法含む）も作成して対応する事により、学校側から特にクレームも無く、作業を完了する事が出来ました。

二つ目は新設及び既存取合い部分を設備工事取合い部分も考慮した上で、安全な形状になるように留意し、且つ綺麗に仕上げる事が出来るかを考えました。

この件については、工事着手前に設計部分及び設備工事との取合い部分の形状及び納まり、設置位置を出来るだけ細かく測定するとともに、設備工事に対して問題無い様に御互い検討し、確認し合う事で、設計図面に表記されていない問題を事前に洗い出し、担当監督員と協議し解決する事が出来ました。

また、品質管理を徹底し、且つ綺麗に仕上げる為の工事手順を専門業者の施工計画を参考にしつつも、過去の経験も踏まえたうえで、現在最良と思える手順での施工を専門業者の理解と協力を得て事前決定し、担当監督員の許可を得て施工していく事で設計部分の目的を守りながらも、オリジナリティのあるより良いものが出来たのではないかと考えております。

今後もこの経験を活かして、より良い工事をしていきたいと考えております。

工 事 場 所	泉区和泉町6 2 1 1 番地		
請 負 人 氏 名	株式会社 谷津建設	代表取締役	谷津 精二
契 約 年 月 日	令和2年6月3日		
完 成 期 限	令和2年11月30日		
完 成 年 月 日	令和2年11月24日		
検 査 年 月 日	令和2年11月30日		
契 約 金 額	68,200,000 円		

株式会社ヨコテック

長津田第二小学校サッシ改修その他工事

本工事は、横浜市緑区にある長津田第二小学校の校舎A棟・B棟・C棟のサッシをカバー工法及び防火サッシに改修する工事でした。

今回の工事は、ほぼ同時期に他業者によるA棟のトイレ改修工事も行われ、仮設計画の段階から校内の限られたスペースでの工事となりましたが、学校側の協力を得て、校庭内に仮設事務所、工事車両、ストックヤード等を設置させていただき、工事を進行することができました。

今回の工事はコロナ禍の中での工事となり、夏休み期間が2週間というタイトな日程の中、通常1ヶ月で計画していた工程の見直しから始め、2週間で集中的に各棟の教室やトイレ、特別教室の改修を先行し、各棟の階段室、廊下、校長室、職員室と日程を組み分けて作業を進めていきました。

毎週のように公社担当監督員に調整を図っていただき、学校やトイレ改修業者と協議して順次工事を進めていきました。

夏休みの2週間は、熱中症対策とコロナ防止対策（こまめな休憩や分散休憩等）を徹底して行いながら作業員を増強して作業に取りかかり、当初の予定通りに各棟教室、トイレ、特別教室等の改修をほぼ完了し、夏休み後は、土日に作業を集中させて163箇所のサッシ改修工事を完工することができました。

児童の皆さんをはじめ、学校関係者の多大なるご協力、並びに公社担当監督員、協力業者、トイレ改修業者の方々のご協力と迅速なご対応や、地域住民の皆様、少年サッカー団、少年野球団の責任者のご配慮により、足場の組立てから解体時には校庭の使用を中止していただいたことで安全に作業を行うことができ、工事を無事故無災害で工期内に完了できましたことを感謝しております。

今後もこの経験を生かし、安全第一でなお一層の技術向上に努めて参りたいと思います。

工 事 場 所	緑区長津田町2469番地3		
請 負 人 氏 名	株式会社ヨコテック	代表取締役	加藤 義久
契 約 年 月 日	令和2年5月13日		
完 成 期 限	令和2年10月16日		
完 成 年 月 日	令和2年10月9日		
検 査 年 月 日	令和2年10月15日		
契 約 金 額	113,413,300 円		

株式会社九州電業社

ひかりが丘保育園照明設備改修工事

本工事は、保育園内の照明器具改修工事を行いました。

保育園は、限られた作業日程とコロナ禍での作業工程管理が難しく、子供達や職員の方々がいる中での作業であり、感染対策にも特に配慮が必要な工事でした。また、保育園側の要望を考慮した施工内容を担当監督員様に提案をさせて頂きました。

安全対策では、狭い場所での作業が可能な高所作業車の選定や墜落制止用器具を使用し、器具の受け渡しには声かけをして、安全に作業ができる環境を作りました。

品質管理については、移設場所の照明器具用 P・BOX に落下防止ワイヤを使用し施工しました。また、保育園側の要望で配線器具移設や増設等でも園児の手の届かない位置や使いやすい位置のヒアリングをし、可能な限り施工できるよう心がけました。

今回の保育園での工事を通して、電気設備以外でも建物の老朽化が日々進んでいることを園長先生からのお話を聞き、電気施工業者で可能な範囲での補強や補修をさせて頂きました。

また、コロナ禍での作業で日々保育園内の感染・安全対策にご尽力されている中で園長先生様、担当監督員様のご協力頂き心から感謝致します。

今後も安全・信頼・完全を極め、技術向上と良質な施工を提供できるよう努めて参ります。

工 事 場 所	旭区上白根町 7 9 5 番地		
請 負 人 氏 名	株式会社九州電業社	代表取締役	大中原 義文
契 約 年 月 日	令和 2 年 12 月 9 日		
完 成 期 限	令和 3 年 3 月 19 日		
完 成 年 月 日	令和 3 年 3 月 5 日		
検 査 年 月 日	令和 3 年 3 月 12 日		
契 約 金 額	9,163,000 円		

株式会社小山電気

浜中学校体育館照明改修工事

本工事は、当該施設の照明設備機器が耐用年数を超過している為、高天井、各部屋の照明器具・配線器具・電灯盤の更新を行いました。

本工事の工程管理で特に注意したのが、生徒・学校関係者が活動されている中での作業であり、第三者の安全の確保及び学校運営に支障がない事を第一にすることでした。

特に6月末迄、新型コロナ対策として学校が休みであったこともあり、7月から体育館が使用出来ると言う事で、副校長先生及び体育・部活動担当の先生や生徒から、「やっと体育館を使用出来る事になったのに、今度は工事か！」と言う気持ちが伝わってきたので、調整が大変でしたが、何回も連絡・調整を行い、撤去・新設及び停電作業も、他の同時工事や学校行事を踏まえて工程を組み、スムーズに施工を行う事が出来ました。

安全管理として、特に注意したのがローリングタワーを使用した高所作業です。

8月と言う時期でもあり、熱中症対策と共に新型コロナウイルス対策も同時に行うと言う状況でした。ローリングタワーは体育室にて3段と4段、ステージは2段で作業を行い、4段を使用時の高所での気温は42℃という日もありました。空調服や扇風機、スポットクーラー、クーラーBOX、熱中症対策タブレット等を用意し、午後は暑さが35℃を超過している為午前中の涼しい時間になるべく作業配分を多くして熱中症対策を行いました。

既設設備の件で注意したところは、ステージ上のピアノです。今回の工事で3~4M程度移動する事になりました。音楽の先生と打合せをしたところ、通常は調律が必要では無いが3月に購入したばかりで、多少の移動でも音に変化する可能性があるとの事で施工後、元の位置に戻したところで、学校指定の業者をお願いして調律を行いました。

工事全般を通しまして、工事が円滑に完了する事が出来たのも、学校関係者、公社御担当者、各協力会社との、密な連絡と御協力があった事が、安全かつ良い施工を行えた要因だと思います。皆様に感謝致します。

今回の工事を活かして反省点も含め今後とも、安全でより良い施工に取り組んでいきたいと思っております。

工 事 場 所	磯子区杉田三丁目30番11号		
請 負 人 氏 名	株式会社小山電気	代表取締役	小山 和幸
契 約 年 月 日	令和2年6月17日		
完 成 期 限	令和2年9月18日		
完 成 年 月 日	令和2年9月3日		
検 査 年 月 日	令和2年9月10日		
契 約 金 額	12,606,000 円		

新興電設工業株式会社

都筑水再生センター外灯照明改修工事

本工事は施設内の既設街路灯と外壁投光器のLED化を行う照明改修工事でした。

現地調査では、設計図との相違があったため担当監督員様及び施設関係者様への報告や調整を行う際にお互いの認識の齟齬が出ないように注意を払いました。

また、同じ施設で別の改修工事が行われており、部分停電が発生する日時や場所、高所作業車の通行ルート等について、施設内工事の工程会議で予め共有を行いました。

施工においては、街路灯について、施設地下管廊からハンドホールを経由してポールへ引き込みされているケーブルが多く、ハンドホール自体も長期間開けられていないものがあったため、必ず作業前に酸素・硫化水素濃度の測定を実施し、安全が確保できてから作業にあたることとしました。

投光器や街路灯の器具等は高所に取り付ける重量物になるため、締め付けトルクの管理をトルクレンチによって行い、施工者と代理人によるダブルチェックとしました。

ケーブル引き替えの際に引き抜きが困難な場所があり、担当監督員様及び施設関係者様と協議の上、絶縁抵抗が良好であることを確認後、接続点を設けて既存のケーブルも使用する等柔軟な対応を行い、工期への遅れが極力発生しない様に努めました。

引き抜きが困難で、絶縁も不良だった箇所については土部分やアスファルト部分を掘削し、既存の管と新設の管路の接続を行うことで対応しました。

本工事については、私の経験のない部分を先輩方の指導により補っていただき、無事引き渡しができた工事でした。担当監督員様や施設関係者様と調整を行うことと、合わせて忙しい中でも社内のコミュニケーションをしっかりとるということも、良い工事を行うためには必要不可欠だと実感しました。

この受賞を励みにこれからもより良い施工を目指し、精進してまいります所存です。改めて本工事で関わった方々にお礼申し上げます。ありがとうございました。

工 事 場 所	都筑区佐江戸町25番地		
請 負 人 氏 名	新興電設工業株式会社	代表取締役	池松 忠彦
契 約 年 月 日	令和2年12月16日		
完 成 期 限	令和3年3月31日		
完 成 年 月 日	令和3年3月24日		
検 査 年 月 日	令和3年3月31日		
契 約 金 額	18,249,000 円		

ナトリ電設株式会社
みどり保育園照明設備改修工事

本工事は保育園の照明設備の改修工事を行いました。施工にあたり特に留意した点は、コロナ禍の中、作業日程はすべて開園時に行うこととなりましたので、園児・保護者・職員の方々に安心して作業を受け入れて頂くことに重点をおきました。そこで、コロナ禍でのルールを作業にかかわる全作業員が対策していることを誰が見てもわかるように心がけました。作業開始前には職員の方と同じ健康観察の記録を同じ体温計で測定し提出、作業員専用の消毒液を各作業場所に設置いたしました。作業場所での扉は常に開放し、各教室には4人までとルールを決めました。これにより、だれが見ても対策をしていることを確認できるように心がけました。

施工については、開園中の限られた日程でしたので、作業順序を決め、どのように園児を移動するか、また職員室や厨房作業の時間帯の調整を特に密にさせて頂きました。園舎外も園児が園庭にどのように通るか園児の動線と作業員の動線が干渉しないように毎回調整をしました。保育園の作業では普通ですが、腰道具の高さは園児の顔の高さと同じぐらいなので、腰道具は取り外し袋に道具を入れて作業を行いました。教室によってはマットや布団が常設している場所もあるので、床や壁の全面養生で対応しました。

また音が出る作業では、大きな音を怖がる園児もあり、特に音の出る作業は細かく時間帯を決めました。

今回の保育園の工事では施工内容はもとより、園を通常通りに運営しながら、どのように作業を進めるかが大きな課題でした。コミュニケーションが十分に図れたことで工程通り無事に完工できました。

何よりも工事におきましては、監督員の迅速な回答や全ての先生方のご協力に心より感謝申し上げます。今後も使用する方の目線や気持ちになり、より良い施工を心がけて精進し一層の努力を致します。

工 事 場 所	都筑区荏田南一丁目9番1号		
請 負 人 氏 名	ナトリ電設株式会社	代表取締役	名取 勲
契 約 年 月 日	令和2年12月16日		
完 成 期 限	令和3年3月19日		
完 成 年 月 日	令和3年3月10日		
検 査 年 月 日	令和3年3月17日		
契 約 金 額	8,987,000 円		

株式会社花方電設

茅ヶ崎南保育園ほか1園空調設備設置その他工事（電気）

本工事を施工するにあたり、特に重点項目として留意したことは『仮設・工程・安全管理』でした。

保育園運営中での作業となり午睡時の音出し作業が難しい中での工程調整や、保育活動中のため園児が元気に走り回っている時間帯もあり、資材を持った作業員との接触をどの様に防ぐか社内で検討しました。

仮設については、室内機及び冷媒管等の工事が絡み工事期間中、照明器具を取外した状態にすると各保育室内の半数程度の照明が無くなり、暗くなって保育室を使用できなくなる事が予想でき、また器具が設置されている状態では天井撤去ができない状態となるため機械設備業者が工事ができません。これを解消するため、取外す埋込照明器具を天井面より吊下げて照明を使用できる状態とし、施設運営及び工事に影響が出ない対策を取りました。

工程について特に注意しなければならない事は午睡でした。事前に配管ルート、ボックス取付け位置の墨出しを行い、あと施工アンカーや配管類の切断及びボックス等の加工を行い、音出しが出来ない時間帯に配管工事を行うことで対応しました。

安全については登園降園時の搬入搬出を避け、午睡時間を利用し資材の搬入をすることで職員及び園児との接触を防止しました。また各保育室内での工事後は、ビス類が落ちていないか現場代理人と協力業者で確認し、園児が怪我をする事が無いように細心の注意を払い清掃を行って無事故、無災害で工事を完遂する事ができました。

施設管理者、職員の皆様及び公社担当監督員の方々の御力添えを頂き、工事を円滑に進める事ができました事を改めて感謝いたします。また、厳しい施工条件のなか協力して頂いた協力業者各位にも感謝いたします。この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

今後も、この経験を活かしより良い施工を心掛けて参ります。

工 事 場 所	都筑区茅ヶ崎南五丁目 1 1 番 3 号		
請 負 人 氏 名	株式会社花方電設	代表取締役	花方 光紀
契 約 年 月 日	令和 2 年 12 月 23 日		
完 成 期 限	令和 3 年 3 月 26 日		
完 成 年 月 日	令和 3 年 3 月 19 日		
検 査 年 月 日	令和 3 年 3 月 26 日		
契 約 金 額	13,046,000 円		

丸子電気工事株式会社

少年自然の家南伊豆臨海学園自家発電設備更新その他工事

本工事は工期 6 ヶ月(工事期間 3 カ月)、他工事の衛生設備工事が同時発注で、直流電源装置・自家発電機の更新と非常放送設備・自動火災報知設備の新設及び更新を行いました。

工程管理については、消防設備の更新をするため、発注図の読解と現場調査をして設計段階で見落としが無いかな担当監督員と協議をしてから、所轄消防へ工事内容と範囲の説明と現行の消防法規に則り新設と更新する箇所を見決めました。

また、現地にて中間検査を行う日取りを決めて、感知器・非常放送スピーカーの配置確認と追加器具の必要性を消防指導を受け施工箇所を決めました。

直流電源と非常用発電機の更新は停電(全館と部分)となるため、学園側へ停電範囲と仮設発電機を必要とする機器を確認して、要望を汲み取りました。

他工事との調整は、消防検査時の連動試験があるので、責任分界区分・警報表示内容の確認・お互いの発注内容確認、実施工程表のすり合わせを行いました。

品質の確保については、電気・機械・自火報・非常放送の作業員は横浜市の施工を理解している方達で施工して、建築工事・左官・足場については地元会社の方たちにも参加して頂き、地域貢献と今回工事の理解につながりました。

ケーブルピット・QB 内部(一部)・など施工後手が届かない箇所などは、更新時に清掃を行い、既設ケーブルもウエスで清掃して既設線名札が見えにくい場合は手前に配置し直しました。

当時製本図面にも今回工事の内容を赤文字で、機器の更新時期・撤去して無いものには×印・増設の場合はシンボルマークを追加して、維持管理しやすいように出来る限り追記させて頂きました。

安全面での配慮については、学園へ工事範囲説明・作業前と後の挨拶・工事動線で開放した扉の施錠確認・清掃と消灯は毎日実施しました。

学園側と工事側の作業区画については、毎日移動して施設内の工事になるため、理解を得て立入禁止範囲を決めて、カラーコーンを設置しました。

創意工夫については、室内も露出配管が多かったので配管やボックスはメンテが可能な高い箇所に施工し、子供たちの怪我に繋がらぬよう注意して、塗装も壁と同色にしました。

また経年劣化している機器はまだ学園にあるため、今後改修が必要と思われる内容については議事録に残し、担当監督員へ報告して次回工事につながるように、現況報告をしました。

工 事 場 所	静岡県賀茂郡南伊豆町子浦 1 4 3 7 番地		
請 負 人 氏 名	丸子電気工事株式会社	代表取締役	田通 三雄
契 約 年 月 日	令和 2 年 9 月 16 日		
完 成 期 限	令和 3 年 3 月 26 日		
完 成 年 月 日	令和 3 年 3 月 12 日		
検 査 年 月 日	令和 3 年 3 月 19 日		
契 約 金 額	47,124,000 円		

株式会社イエス

釜利谷東小学校ほか1校トイレ改修その他工事（機械）

本工事は、小学校2校のトイレその他の改修工事で、釜利谷東小学校は男子トイレと女子トイレの場所を入れ替え、なおかつ高架水槽を撤去し直結給水化にし、八景小学校は、通級等トイレの改修及び、高架水槽からの流末給水管の更新工事を行いました。

工事を開始するにあたり、最初に行ったのが、建築工事との着工から工事完了までの1日ごとの作業予定を記入した工程表を作成し工程管理を行いました。

次に仮設計画を作成取り組むと、今回工事の難しさが見えてきました。

釜利谷東小学校では、対象トイレの前が、はまっ子の出入口になっていて、作業動線の確保が困難であったり、グラウンド側出入口前は、高架水槽撤去時のラフタークレーンの設置場所になってしまったりと問題点が山積でした。

工事動線は、はまっ子の出入口を片側にしてもらい、生徒達の動線が被らないように第三者災害の可能性を防止しました。

高架水槽撤去時は、グラウンド側出入口前にカラーコーンを配置し安全通路を確保できるように再度検討を行いました。

また、作業の効率化を図るために、資材置き場を夏休み中は、作業場の近くに設け工期の短縮を行い、資材加工場所は、トイレ前仮設間仕切りを建築に依頼し広めに設置してもらいました。

八景小学校では、障害のあるこども達が通学する通級棟トイレの改修となり、こども達が普段聞かない作業現場の騒音や多数の作業員の出入りがあり、こども達が不安にならないよう先生方と、作業時間や大きな音が出る作業の調整等を行い、授業時間への影響を極力減す努力をしました。

改修工事は、いながら作業、いかしながら作業、となる為、施設側との密な打ち合わせと他工事との連絡調整、協力業者との指示伝達事項、問題点の共有、何よりも安全第一で作業を行うことを最優先にて進めていくことが大事だと思います。

今後とも本工事の経験を活かし、安全に作業を完了し施設利用されている皆様に喜んで頂けるよう一層の努力をいたしてまいります。

工 事 場 所	金沢区釜利谷東二丁目12番1号		
請 負 人 氏 名	株式会社イエス	代表取締役	川村 恭男
契 約 年 月 日	令和2年6月10日		
完 成 期 限	令和2年10月9日		
完 成 年 月 日	令和2年10月1日		
検 査 年 月 日	令和2年10月7日		
契 約 金 額	40,623,000 円		

カナレイ株式会社

よこはま動物園チンパンジー舎空調設備改修工事

本工事は動物園の獣舎に設置された空調設備の改修工事でした。

動物園での工事は、人だけではなく動物にも十分な配慮を求められるため様々な遵守事項があります。新型コロナウイルスや豚コレラ、鳥インフルエンザ等の感染症防止対策として入園前の検温、車両の消毒や手指、靴底の消毒、また獣舎内作業では入室前に作業服の消毒も行いました。騒音につきましてもチンパンジーは繊細な動物なので大きな音に興奮したりストレスを感じてしまうため大声、不要な会話の禁止や騒音をできるだけ抑える心掛を徹底しました。作業時間も動物が獣舎から展示室へ移動する 10:30 から獣舎に収容する 15:45 までの短い時間に完了しなくてはならず、動物が体調不良等により展示室へ出られない時は、室内作業が中止になることもあります。そのため実施工程を策定するうえで幾つものパターン of 工程を計画立案する必要がありました。獣舎内では、工具の置忘れや不完全な清掃が動物に対して重大な事故の原因となるため終業前に三者三重チェックを実施しました。その他多くのルールを工事従事者全員が理解し確実に守りながら工事を進めるために新規入場者教育だけではなく日々の朝礼、終礼で周知することが大変重要でありました。また多くの制約がある中で不測の事態が生じても万全を期して対応できるよう綿密な施工計画を立てることが最重要であると改めて実感しました。

本工事が無事故、無災害で完成できたことにご協力を賜りました施設管理者様、飼育員の皆様、ご指導くださいました監督員に深く感謝申し上げます。

工 事 場 所	旭区上白根町 1 1 7 5 番地 1		
請 負 人 氏 名	カナレイ株式会社	代表取締役	後藤 守利
契 約 年 月 日	令和 2 年 7 月 1 日		
完 成 期 限	令和 2 年 11 月 20 日		
完 成 年 月 日	令和 2 年 11 月 10 日		
検 査 年 月 日	令和 2 年 11 月 16 日		
契 約 金 額	17,358,000 円		

株式会社金子産商湘南

中央卸売市場本場水産物部衛生設備等改修工事（B P - 2 系統）

本工事は、中央卸売市場本場水産物部の卸売棟、仲卸棟、駐車場棟、ほか直結増圧ポンプの系統2に当たる部分の衛生設備配管の改修工事及び、新設の増圧ポンプの設置工事でした。

中央卸売市場は、横浜市の流通の基点であり、特に水産物部は日が昇らないうちから市場関係者や一般人等市場に行き交っていました。

上記工事を施工するにあたり施設とよく相談をし、休市日での施工、工事時間の設定や施設で働く人達への事前説明をおこないました。よって卸売棟内に事務所設置や器具等の保管場所設置を設けました。工事着手により下記に重要と考えた措置又は対策を講じました。

① 高所作業車による外壁架空配管、場内天井配管、天井内不要配管撤去による施設職員業者一般人等への危険防止及び作業員の墜落、落下防止が重要と考えました。

作業範囲を図示して関係者等に説明周知しました。また作業範囲をカラーコーン等で区画し立ち入り禁止の表示をし、誘導員を配置しました。

施設関係者や一般人等が近づいた時は誘導員が安全に誘導しました。

② 配管材、機器等品質が満足しているか確認が重要と考えました。

材料、機器等搬入時納品書、納入仕様書と照合し形式、型番、規格、口径、数量、及び運搬途中での損傷の有無など確認しチェックリストに記入した。

不適合品に関しては場外搬出とし再度手配の予定であったが今回発生しませんでした。

今般同時に多くの工事が錯綜していたこともあり、他の業者さん達とも協力し工事を進めることが出来ました。

多くの作業が高所作業車による作業であった為、事前に仮設計画を重点的に行い、市場の業者様達との接触を避けるため、工事開始時刻及び資材の搬出などの時間帯を制限することによって、スムーズに工事を進めることが出来ました。

施設の方々、水産物部の業者様のご協力のもと、満足のいく現場管理と品質向上が出来たかと思えます。今後も、工事に携わる方々とコミュニケーションを取りつつ、今回の物件以上の品質や管理や施工が出来て行ければと思います。

工 事 場 所	神奈川県山内町1番地		
請 負 人 氏 名	株式会社金子産商湘南	代表取締役	金子 久雄
契 約 年 月 日	令和2年8月19日		
完 成 期 限	令和3年3月26日		
完 成 年 月 日	令和3年3月11日		
検 査 年 月 日	令和3年3月24日		
契 約 金 額	85,327,000 円		

興和工業株式会社

瀬谷第二保育園調理室スチームコンベクション設置工事

本工事は既存調理室に新規にガススチームコンベクションを設置する工事でした。

工事中は新型コロナウイルス感染防止対策の徹底と作業中の安全対策、騒音抑制・防止対策に重点をおきました。

感染対策は、常時マスク着用等、基本的な対策に加え、毎朝、作業員の検温、健康状態のヒアリングを実施し、結果を保育園に毎日報告を行いました。また、共用で使用する工具の念入りな消毒、作業後の消毒の徹底等、全員が常に細かなところに注意を払い工事を行うことを徹底しました。

安全対策としては、主に、朝夕の送り迎えの時間帯は道線付近での作業は行わない・搬入関係は休園日に合わせる等の工程調整、そして、やむを得ず開園時に荷下ろし等が生じる場合などは必ず園側と時間・場所等を事前に打合せる等の協力会社も含めた関係者との情報共有に力を入れました。

この他、引渡し後の使用勝手や清掃のしやすさ等を考慮し、水栓の取付位置や配管ルートを保育園の調理関係者と打合せを常に行い工事を進めるなどし、無事、施工完了致しました。

施設の関係者の皆様、強力会社、担当監督員におかれましては多くのご協力を賜りました。この場をお借りして御礼を申し上げます。

本工事の経験を活かし、今後も邁進してまいります。

工 事 場 所	瀬谷区瀬谷三丁目18番地2		
請 負 人 氏 名	興和工業株式会社	代表取締役	小堀 段
契 約 年 月 日	令和2年10月7日		
完 成 期 限	令和3年2月19日		
完 成 年 月 日	令和3年2月11日		
検 査 年 月 日	令和3年2月18日		
契 約 金 額	8,800,000 円		

神中工業株式会社

旭区総合庁舎新館及び別館空調換気設備更新工事

本工事は、「旭区総合庁舎新館及び別館空調換気設備更新工事」でした。

今回の工事は、室外機の更新を除くと、庁舎内のワンフロアに100名ほどの方々が業務をされている中で、室内機更新工事でしたので、作業日程は土曜、日曜、祭日に限定されました。また、工期は令和2年10月から翌年1月までの寒い時期でしたので、工事前にリースでの仮設暖房の使用が検討され採用されることになりました。このように幾つかの制約がありましたが、関係各位皆様のご意見やご要望等を伺い、保全公社の担当様に様々なご教示をいただきながら現場の施工を推進させていただきました。

具体的には、次の項目を事前に検討、計画して工事に臨み、竣工を目指しました。

1. 施工前の現場確認を徹底し、専門業者の助言などを組み入れ、問題や事故のない作業工程を検討する。
2. 施工は短期集中型でしたので、工事進捗に対応できる、より実績・総合力のある専門協力業者を選定する。
3. 作業するにあたり、ワンフロア全面を養生する必要がありましたので、職員の方々が使用されているIT機器、電話等の機器類を損傷しないように配慮し、慎重に施工する。
4. セーフティーファーストをスローガンとして作業員全員で工事に臨む環境を創造し実施する。

以上を管理としての重点項目とし、完成に向けて行いましたが、加えて弊社が取得しているISO9001の品質管理も活用しました。

工事中は皆様のご配慮に感謝申し上げます。今後は、グローバルな視点に立ち、SDGsに着目し、更なる環境保全と豊かな生活向上に貢献してまいりたいと存じます。

工 事 場 所	旭区鶴ヶ峰一丁目4番地12		
請 負 人 氏 名	神中工業株式会社	代表取締役	石田 隆
契 約 年 月 日	令和2年8月19日		
完 成 期 限	令和3年1月29日		
完 成 年 月 日	令和3年1月17日		
検 査 年 月 日	令和3年1月26日		
契 約 金 額	30,327,000 円		

杉山管工設備株式会社

西公会堂吸収冷温水機等更新工事

本工事は、西公会堂の熱源更新工事でした。

作業箇所は、1階熱源機械室と屋上の冷却塔置場の2箇所でしたが、屋上への動線が地区センター内部・公会堂の調光室を通らなければならないため、養生計画を立て壁・床材・調光機器等に損害を与えることの無いように養生を実施。作業場所に関しても既存機器・屋上防水層の保護に努めました。

工事にて使用するコンセントは施設運営に影響のない屋外コンセント回路を調査し、承認後、コンセント・ブレーカーマップを作成し、協力業者作業員に使用可能なコンセントを周知徹底しました。

安全に関しては、施設近隣が集合住宅・裏側が高等学校であり、搬出入時の車両には必ず誘導員を配置、揚重ラフター作業の際は事前に近隣及び高等学校にアナウンスを行い、作業当日は作業箇所の完全区画整備・誘導員の適正配置に努めました。

また毎日、作業場所・作業内容・作業人数・搬出入車両台数を図面に記し、施設側と工事の状態を共有し、重複作業のなきように調整を徹底しました。

本工事期間はコロナ禍での元請工事だったため、作業員の検温・体調確認・休憩場所のソーシャルディスタンス・マスクの完全着用・消毒液の設置・感染者が発生した場合の措置等、今では当たり前の作業ですが、本工事時は初めての経験だったため困惑したことを思い出します。

工程管理に関しては、工事期間中一般施設利用停止の準備を事前にして頂き、また施設館長をはじめスタッフ皆様のご理解を頂戴し、スムーズに工事を行うことができました。

天候不良による工程に遅れが生じないように、また当該現場での火気使用作業をなくすため、プレハブ加工管を採用しました。加工管の採用により工程の短縮が可能となり、試運転調整期間を長くとれ、熱源更新工事による既存設備への影響、既存ローカル設備への確認等を含め、所期の目的が達成できたと考えます。

今回のご下命工事を無事故・無災害で完成引き渡しできたのは、横浜市施設管理及び関係者一同、公社監督員、施設スタッフ方々のご理解とご協力の賜物と心より御礼を申し上げます。

今後も当工事の経験を活かし、安全第一・より良い高品質の施工を心がけたいとおもっています。

工 事 場 所	西区岡野一丁目6番41号		
請 負 人 氏 名	杉山管工設備株式会社	代表取締役	大藤 晃弘
契 約 年 月 日	令和2年7月22日		
完 成 期 限	令和3年1月22日		
完 成 年 月 日	令和3年1月6日		
検 査 年 月 日	令和3年1月15日		
契 約 金 額	65,670,000 円		

株式会社司工事

善部小学校ほか1校トイレ改修その他工事（機械）

今回の工事は小学校2校のトイレとその他を改修する工事であったが、コロナの影響で今までとは違った工事管理をしなければ甚大なる影響があると考えました。また、建物の形状が複雑なため品質管理には入念な事前調査が必要と考え、コロナ対策を含めた安全管理と建物状況を把握した品質管理を最重要項目として施工に取組みました。

コロナ禍において学校という公共の場での工事となるので、感染症対策を含めた安全管理として作業開始前の体温測定や体調の確認と消毒作業を実施し、当日の作業エリアでの密を防止するためフロアごとに作業員を2名程度に分配配置しました。また、建築工事とラップする作業を極力避けて1校に作業が集中しないように工程調整も行いました。マスクを着用しての作業が続くので熱中症対策として水分補給や休憩時間の頻度を多くとり体温を下げる器具を常備するなど対策を講じました。

建物の形状が複雑なので梁・壁の位置、梁成・壁厚などを事前に調査し躯体を3D化して、配管貫通箇所及び排水勾配のチェック、また、パイプシャフトも狭い空間なので配管立ち上げ位置や給水バルブの向きなどに注意し間仕切りや扉に干渉しないように施工図を作成して施工検討を行いました。新設配管をプレハブ化するのは勿論のこと、加工配管リストに勾配や前後の継手角度を明記したものを使用し、フロアごとの施工図をCG化して施工イメージしやすい工夫をし、配管高さや配管ルート間違いなどを無くし品質を保ちました。作業動線についても学校側と事前協議し内部作業出入口や外部への出入口は常に施錠をして、資材などの運搬は児童が居ない時間に行うなど配慮いたしました。

今までにない現場対応を強いられる今回の現場でしたが、社内一同また協力会社一丸となって課題や工夫に取り組み安全や品質の向上に真摯に取り組みました。より良いものを作り上げるという志を持ち、これからも努力していきたいと思えます。

工 事 場 所	旭区善部町4番地1		
請 負 人 氏 名	株式会社司工事	代表取締役	清田 真弘
契 約 年 月 日	令和2年6月24日		
完 成 期 限	令和3年2月26日		
完 成 年 月 日	令和3年2月15日		
検 査 年 月 日	令和3年2月25日		
契 約 金 額	59,697,000 円		

株式会社ニッセツ

工業技術支援センター空調機更新工事

本工事は、工業技術支援センターの公共床に設置されている2階～6階までの空調機（水冷式外気処理エアーハンドリングユニット）の更新工事でした。

施工における条件として各フロア1週間～10日の空調停止期間が指定されていたことと、既設の搬入口等の制限により分割搬入（2階のみ全バラシ搬入）と分割搬出が施工条件となっていました。

まず取り組んだことは、安全、確実な搬出入を行うための施工計画の確定でした。

当初はラフタークレーンによる搬出入を計画していましたが、搬出入路として使用予定のバルコニーには特殊な形状の庇や避難ハッチ等の支障があったことからクレーンによる搬出入を取りやめ、既設E L Vによる搬出入に変更し、搬入口等開口部の大きさや機械室内での搬入機器の取り回しスペース等を機械室ごとに実測し、既設空調機メーカーの技術者の立ち会いの上で分割位置の再検討も行き、標準分割からの再分割に変更して施工することにしました。

仮決定した搬入計画を元に、施設管理者様との施工協議を行い、2階の空室の一部を借用して全フロア分の機器を仮置きし、機器搬入時の施設利用者の通行制限範囲を最小にすることを盛り込んで搬入計画を確定しました。

また工程に関しては、2階の全バラシ搬入以外、1フロアあたりの工程サイクル抽出し、作業日程を各フロア統一化することに努め、施設管理者が希望する空調停止期間を守る工程を組むことができました。その結果、工事の予定について利用者への周知もスムーズに行え、余裕をもって施工することができました。

今回の工事を無事に完了することができたのは、施設管理者様のご理解と工事関係者の積極的な協力があったことですが、日々の施工内容連絡、作業後の報告を欠かさず行ったことにより、施設管理者から信頼をいただけるようになったこと、工事の予定を事前に周知し、その予定通り施工することができたことにより、達成できたことと改めて思います。

今回の工事を例に、しっかりとした事前調査と施工計画の早期確定の重要性を認識し、今後の工事に活かしていきたいと思います。

工 事 場 所	金沢区福浦一丁目1番地1		
請 負 人 氏 名	株式会社ニッセツ	代表取締役	宮下 和利
契 約 年 月 日	令和2年4月28日		
完 成 期 限	令和2年12月25日		
完 成 年 月 日	令和2年12月10日		
検 査 年 月 日	令和2年12月17日		
契 約 金 額	36,531,000 円		

令和3年度版 工事管理のひけつ

編集・発行 公益財団法人横浜市建築保全公社

横浜市中区相生町 3-56-1 KDX 横浜関内ビル 6F

TEL 045-641-5106 FAX 045-664-7055

<http://www.y-hozen.or.jp>

発行日 令和3年11月25日

本文はそれぞれの原稿を元に一部修正等を行っておりますが、その責任は当公社にあります。無断で本書の全部もしくは一部を転載・複写することをご遠慮ください。